

『生者必滅』 自然体で生き切る生き方の提案



登れば降りる 夕映えの富士

活人禪寺 住職 快山 慧智

生 学 創 拡 守 讓 捨 還



『本来無一物』 裸で生まれて裸で死ぬ
捨てる、捨てる、尚も捨てる、無心に生きる。

**失ったら困るものがある間は、真の自由は得られない
(執着心を)捨てる程、心は楽になる**

先ずは、『情報断食(坐禅)』に挑戦



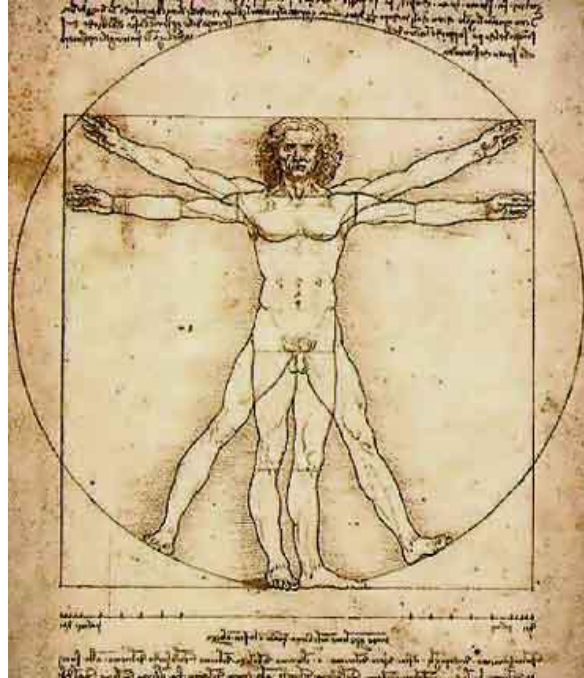
情報は知識の断片だが、心の眼を曇らすものが多い。

『本来無一物』、『莫妄想』、無くて困る物は『無い』。

先ずは、全てを捨てる覚悟を試みる。

起きて半畳、寝て一畳。必要な物だけならトランク一つ。

捨て方の美学



地位・名声・報酬・建前・資産・羞恥心・・・人間関係
残るのは、この身ひとつ。

拘り、囚われ、偏りを捨てると、自由に生きられます。

使命とは、命の使い方



屯田兵の生活風景

最初に捨てるのは、過去の柵に繋がる一切
今日から捨て始め、森羅万象と共に命を使い切り、
**真の自由を謳歌して、完全燃焼して
地球に還る。**

守・破・離 本を忘るな



歴史は無常 心身は一如 本性は星の子

全てを捨て、無となり、地球に還る



<http://www.ryobo.org/>